

皮膚科

田所丈嗣

当科では、国立病院機構が担うべき医療のなかでも皮膚腫瘍を含めた皮膚がんを中心に重点を置いた診療に従事しており、皮膚がんの適切な診断と治療を診療内容の基本として、外科的ならびに内科的対応が可能です。当院は皮膚がんに対する手術療法ならびに化学療法、放射線療法などの集学的な治療を行える数少ない施設の一つであり、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医をはじめ優れたスタッフと恵まれた医療設備のもと、皮膚がんに対する正確な診断と十分な説明、事実裏付けられた治療をモットーに、皮膚がん患者の社会的な生活の質を第一とした診療を行い、皮膚がんの中核病院としての役割を果たすべく責任を持って診療にあたっています。また、皮膚腫瘍の診断は容易ではないものも多いためダーモスコピーによる非侵襲的な検査を導入し、先進医療としての RI 法と蛍光色素法を併用した悪性黒色腫に対するセンチネルリンパ節生検も可能で、臨床検査科病理部門との合同カンファレンスを行うことで診断精度を高めるとともに、治療方針を含めたセカンド=オピニオンの要請にも十分に応えられる体制を整えています。また、皮膚がん切除後の組織欠損に対しても、整容面や機能面に配慮した皮膚外科的な対応を行っています。更に、当科では、下肢静脈の弁不全によって発生する下肢静脈瘤に対する専門外来を開設し、非侵襲的な超音波ドップラー検査や脈圧波測定検査を用いた専門的な診療を行うとともに、保存的治療に加えて短期入院による外科的治療を数多く経験し、良好な治療成績を残しています。一方、パッチテストによる金属アレルギー等の接触皮膚炎の診断と治療、あざの相談と治療など専門性の高い診療にも対応し、難治性皮膚疾患に関しても、地域の医療施設や近隣の総合病院から専門的な診療を要する患者を積極的に受け入れるとともに、当院において加療中の他科患者の皮膚疾患についても責任を持って診療にあたっています。以上のような当科における診療内容の性格上、病状説明や検査、処置等に十分な時間をかける必要性があり、安定期患者には密接な病診連携のもとに地域の医療機関における継続診療を勧めつつ、他の医療機関から広く紹介患者を受け入れることで地域のニーズに積極的に応えるよう努力しています。

【2010 年度研究発表業績】

A-0

Bonté F, Cauchard JH, Arehamlmult JC, Neveu M, Tadokoro T, Ozawa K, Nagamatsu M. A new extract from the Brassocattleya marcella Koss orchid as topical skin lightening agent. Chin J Dermatol 2010; 43:72 (2010年1月)

Tadokoro T, Bonté F, Archambault JC, Cauchard JH, Neveu M, Ozawa K, Noguchi F, Ikeda A, Nagamatsu M, Shinn S. Whitening efficacy of plant extracts including orchid extracts on Japanese female skin with melasma and lentigo senilis. J Dermatol 2010; 37:522-530 (2010 年 1 月)

Bonté F, Cauchard JH, Arehamlmult JC, Neveu M, Tadokoro T, Ozawa K, Nagamatsu M. New orchid extract based technology for skin whitening. Chin J Dis Control Prev 2010; 14:353-355 (2010年4月)

A-1

田所丈嗣：外科的療法「疾患と治療Ⅳ 運動器系／皮膚／眼／耳鼻咽喉／歯・口腔」松田 暉、萩原俊男、難波光義、鈴木久美、林 直子総編著、67-68、南江堂、東京、2010年10月

小澤健太郎：皮膚良性腫瘍「疾患と治療Ⅳ 運動器系／皮膚／眼／耳鼻咽喉／歯・口腔」松田 暉、萩原俊男、難波光義、鈴木久美、林 直子総編著、111-113、南江堂、東京、2010年10月

A-3

池田 彩、野口史人、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：Clear cell syringoma「西日皮膚」72：329-330、2010年8月

東 祥子、永松麻紀、池田 彩、野口史人、小澤健太郎、田所丈嗣、山村 順：パクリタキセルにより誘発されたと考えた強皮症様皮膚硬化「皮膚病診療」32：887-890、2010年8月

永松麻紀、東 祥子、池田 彩、野口史人、小澤健太郎、田所丈嗣、中森正二、児玉良典：ドレーンによって implantation された腓癌の皮膚転移の1例「皮膚科の科学」9：387-390、2010年8月

池田 彩、永松麻紀、東 祥子、小澤健太郎、田所丈嗣、磯ノ上正明：丘疹を伴った下腿うっ滞性脂肪織炎の1例「皮膚科の臨床」52：1285-1288、2010年9月

B-4

申 祥子、永松麻紀、池田 彩、野口史人、小澤健太郎、田所丈嗣：頭部に発生した隆起性皮膚線維肉腫の1例。第109回日本皮膚科学会総会、大阪、2010年4月

B-6

小澤健太郎、東 祥子、永松麻紀、田所丈嗣：T細胞皮膚リンパ腫が疑われた皮膚リンパ球腫。ひふ勉強会、大阪、2010年5月

田所丈嗣、小澤健太郎、野口史人、池田 彩、永松麻紀、東 祥子：日本人成人女性における二つの化粧品の8週間の外用による美白効果に関する評価と比較。第2回関西毛髪・美容研究会、大阪、2010年5月

永松麻紀、東 祥子、小澤健太郎、田所丈嗣：ソラフェニブによる多形紅斑型薬疹の1例。第419回日本皮膚科学会大阪地方会、大阪、2010年5月

小澤健太郎、東 祥子、永松麻紀、田所丈嗣：センチネルリンパ節転移を認めた左大腿の悪性黒色腫。ひふ勉強会、大阪、2010年6月

小澤健太郎、永松麻紀、東 祥子、田所丈嗣：丘疹状環状肉芽腫の1例。第48回湾岸勉強会、神戸、2010年7月

永松麻紀、東 祥子、池田 彩、小澤健太郎、田所丈嗣、辻 真紀：凍結療法が奏功したHIV関連カポジ肉腫の1例。第103回近畿皮膚科集談会、大阪、2010年7月

小澤健太郎、池田 彩、宮崎明子、東 祥子、永松麻紀、田所丈嗣：Milia en plaqueの1例。ひふ勉強会、大阪、2010年7月

小澤健太郎、池田 彩、永松麻紀、宮崎明子、東 祥子、田所丈嗣：限局性水疱性類天疱瘡の1例。ひふ勉強会、大阪、2010年9月

東 祥子、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：尋常性天疱瘡から落葉状天疱瘡への移行例。第61回日本皮膚科学会中部支部学術大会、大阪、2010年9月

小澤健太郎、池田 彩、宮崎明子、東 祥子、永松麻紀、田所丈嗣：Milia en plaqueの1例。第49回湾岸勉強会、神戸、2010年10月

小澤健太郎、東 祥子、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：左1趾爪甲下悪性黒色腫の1例。ひふ勉強会、大阪、2010年10月

小澤健太郎、宮崎明子、東 祥子、永松麻紀、池田 彩、田所丈嗣：再燃を繰り返したGlobe and socks症候群。ひふ勉強会、大阪、2010年10月

小澤健太郎、池田 彩、宮崎明子、永松麻紀、田所丈嗣：当初脂漏性角化症を考えられた下肢の基底細胞癌。ひふ勉強会、大阪、2011年1月

小澤健太郎、永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、田所丈嗣：HIVキャリアに生じた中毒性表皮壊死症。ひふ勉強会、大阪、2011年2月

小澤健太郎、池田 彩、東 祥子、永松麻紀、宮崎明子、田所丈嗣：A-V シャントによる足背、足趾の皮膚潰瘍。ひふ勉強会、大阪、2011 年 3 月

小澤健太郎、永松麻紀、東 祥子、田所丈嗣：64 歳女性の両膝に生じた多発性皮下結節。第 50 回湾岸勉強会、神戸、2011 年 3 月

永松麻紀、池田 彩、宮崎明子、小澤健太郎、田所丈嗣：Paralle ridge pattern を示し Early acral melanoma と考えた手掌の色素斑。第 196 回大阪皮膚科症例検討会、大阪、2011 年 3 月

B-8

田所丈嗣：目に見える色と色素沈着。オーキデ・アンペリアル・ホワイト・セロム・セミナー、東京・大阪、2010 年 4 月

小澤健太郎：ダーモスコピー診療録～悪性腫瘍を中心に～。阪大皮膚科 OA 会、大阪、2010 年 4 月

田所丈嗣：病理学各論 V（皮膚）。看護学校講義、大阪、2010 年 4 月

田所丈嗣：褥瘡-なりたちと治療-。褥瘡研修会、大阪、2010 年 6 月

田所丈嗣：皮膚の悪性腫瘍についての診断と治療。大阪市南医師会勉強会、大阪、2010 年 9 月

田所丈嗣：皮膚外科。大阪大学医学部講義、大阪、2010 年 9 月

小澤健太郎：ご紹介患者さんの経過報告。大阪中央皮膚疾患フォーラム、大阪、2010 年 10 月

B-9

田所丈嗣：紫外線と皮膚がん。サンデー・ドクター、大阪、2010 年 5 月